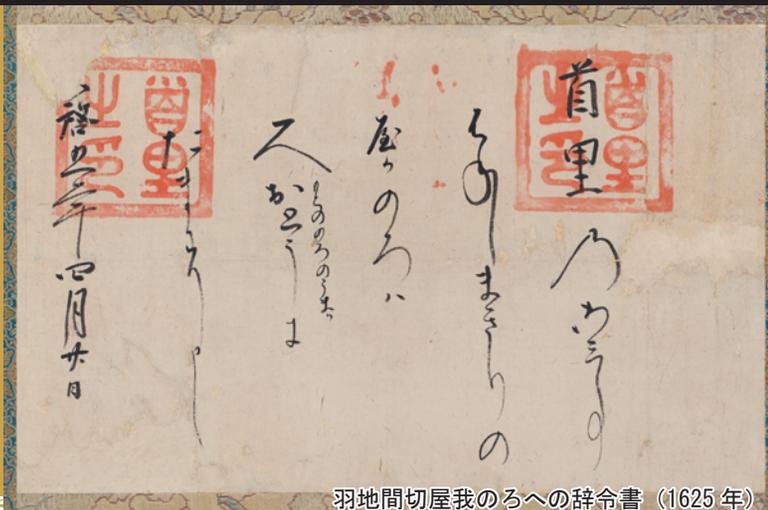
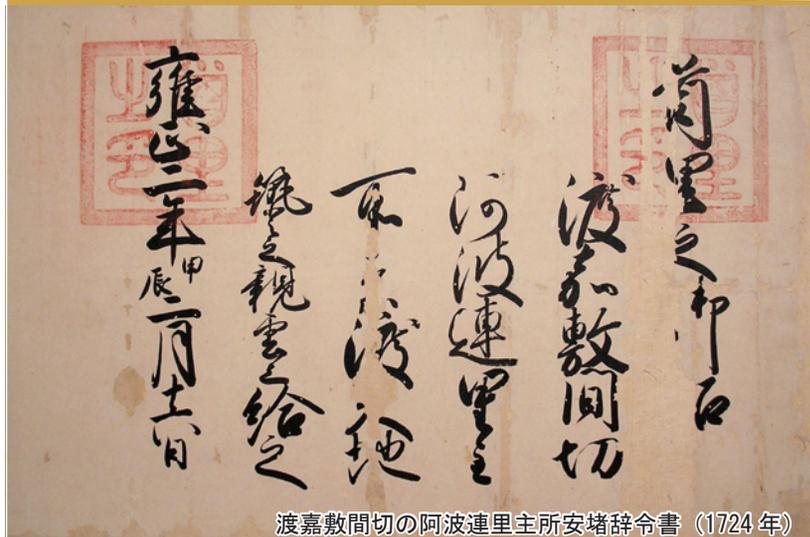


# 琉球王国時代の 辞令書ヒストリー



羽地間切屋我のろへの辞令書 (1625年)

## ～館収蔵の 辞令書を中心に～



渡嘉敷間切の阿波連里主所安堵辞令書 (1724年)

3/6 2021 (土)

14時～16時 (開場 13時30分) **入場無料**

講師：崎原恭子 (歴史担当)

会場：沖縄県立博物館・美術館  
博物館講座室 (50席)

参加方法：事前申込 (電話・来館)  
※2/6(土)より受付開始

※新型コロナウイルスの拡大状況によっては中止または一部変更の可能性があります。

辞令書とは役職の任命等が記された文書のこと、ある特定の組織や団体の内部で出される公文書を指します。当館には、琉球王国時代に国王や役所から発給された辞令書が59通収蔵されています。その中には、1523年から1850年までに出された32通がまとめられた重要文化財の田名家文書(寄託資料)や、沖縄県の有形文化財に指定された伊平屋島や宮古島の役人、羽地間切のノロへ発給された辞令書も含まれます。これらは琉球王国の組織体制を特徴づける資料として、博物館常設展示室で紹介しています。

本講座では、当館に収蔵されている琉球王国時代の辞令書を中心に、その種類や内容等を紹介し、辞令書を通して見える琉球史についてお話しします。

お願い・発熱や風邪、体調の優れない方は参加をご遠慮ください。

- ・マスク着用、手指の消毒をお願いします。
- ・健康状態の聞き取りにご協力をお願いします。
- ・ご自宅にて検温を必ず行ってください。
- ・新型コロナウイルス接触アプリ(COCCA/RICCA)の活用をお願いします。